

V-High帯域の利用に係る提案募集の実施結果

事務局

V-High帯域(207.5～222MHz)の利用について、平成30年11月29日から平成31年1月31日まで第二次提案募集を実施したところ、8者より8件の提案があった。

提案者名	区分	提案概要
(一社)電子情報技術産業協会	放送	新たな地上放送の実験等を目的とした放送用暫定使用帯域としての利用を提案。また、残存する従前の旧アナログテレビ放送の受信設備等により、テレビ放送の混信障害等が発生しないよう、実態調査が必要と指摘。
(株)ピクセラ	放送	地上8K放送の実証実験に活用することを提案。東京オリンピックにおいてVHF帯域による8K放送のパブリックビューイングの実施を目指す。
シャープ(株)	放送	新たな放送技術(4K・8K)を活用したシステムへの移行に活用することを提案。当面はUHF帯域で現行の地上デジタル放送を継続しつつ、V-High帯域で新たな技術方式による放送を行い、将来的に新しい放送方式の導入が容易なシステムへの移行を図る。
ソニーセミコンダクタソリューションズ(株)	放送	放送波を活用して、多数のIoT端末に同時にデータを送信するシステムに使用することを提案。
個人	放送	地上4K放送の早期実現のために活用すべきとの提案。
個人	放送	地域向けデジタルコミュニティ放送として利用する企画を参考として提案。
個人	放送	地上デジタルラジオ試験放送に利用すべきではないかとの意見。
個人	放送	地上放送の高度化に使用されることを希望する意見。また、残存する従前の旧アナログテレビ放送の受信設備が電波を受信・増幅すること等により、既存のテレビ受信機に影響を与えないよう配慮することを要望。

【参考】V-High帯域の利用に係る第一次提案募集(平成29年11月22日～平成30年2月6日)の結果

2

提案者名	区分	提案概要
IPDCフォーラム	放送	放送電波を用いて、IoT機器を対象に、IPデータを一斉同報配信するシステム。自治体等によって地域向けの情報配信を目的として使用されることを期待。
デジタルコミュニティ放送協議会	放送	自治体等を運営主体とするデジタル放送による地域情報の簡易動画サービス・音声サービスやIoT機器を対象としたデータ配信を想定。
東京ワンセグ放送(株)	放送	リアルタイム型放送やダウンロード(蓄積)型放送、デジタルサイネージ等のコンテンツ配信サービスを実施するほか、IPデータの一斉同報配信を利用した物流効率化事業を想定。
個人	放送	本周波数を利用したマルチメディア放送は終了したものの、コンテンツ等を見直すことで、再度事業になるのではないかと意見。
(株)NTTドコモ、エリクソン・ジャパン(株)、全日本空輸(株)、パナソニック(株)	通信	VHF帯の移動通信システムにより、公共及び民間(自営)の無線システムの利用者が、防災用途や、陸海空での高速データ通信などに利用することを想定。
(株)シーエスファーム	通信	光ファイバーを敷設することが困難な地域に無線回線を提供し、データ通信、IP電話、防災無線等での利用を見込むもの。
(株)日立国際電気	通信	公共・公益分野の利用者に対し、映像や災害情報等を伝送可能とする共同利用型のM2M/IoT無線プラットフォームを提供。
(株)富士通ゼネラル	通信	これまで国や自治体を対象としていた公共ブロードバンド移動通信システムを高度化し、一般利用や平時においても利用可能なシステムを提供するもの。